薬剤情報

2025-6月　No.26

１．採用薬品情報（2025/6/2　薬事審議会）

1）新規採用薬剤

①アイリーア 80mg 硝子体内注射用キット 114.3mg/mL
薬価：¥146,286

【薬効分類】
眼科用 VEGF 阻害剤

【用法・用量】
アフリベルセプト（遺伝子組換え）として 8mg（0.07mL）を 4 週ごとに 1 回、通常、連続 3 回（導入期）硝子体内投与するが、症状により投与回数を適宜減じる。その後の 維持期においては、通常、16 週ごとに 1 回、硝子体内投 与する。なお、症状により投与間隔を適宜調節するが、8 週以上あけること。

②バビースモ硝子体内注射用 キット 120mg/mL
薬価：¥131,892

【薬効分類】
眼科用 VEGF/Ang-2 阻害剤

【用法・用量】
〈中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性〉 ファリシマブ（遺伝子組換え）として 6.0mg（0.05mL）を 4 週ごとに 1 回、通常、連続 4 回（導入期）硝子体内投与するが、症状により投与回数を適宜減じる。その後の維持期においては、通常、16 週ごとに 1 回、硝子体内投与する。なお、症状により投与間隔を適宜調節するが、8 週以上あけること。
〈糖尿病黄斑浮腫〉症状により投与間隔を適宜調節するが、4 週以上あけること。
〈網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫、脈絡膜新生血管を伴う網膜色素線条〉投与間隔は、4 週以上あけること。

③フェスゴ配合皮下注
薬価：¥257,938（MA）、452,686（IN）

【薬効分類】
抗悪性腫瘍剤/抗 HER２ヒト化モノクローナル抗体・ヒアルロン酸分解酵素配合剤

【用法・用量】
〈HER2 陽性の乳癌〉 他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人に対して 1 日 1 回、ペルツズマブ（遺伝子組換え）、トラスツズマブ（遺伝子組換え）及びボルヒアルロニダーゼ　アルファ（遺伝子組換え）として初回投与時にはそれぞれ 1200mg、600mg 及び 30000U を、2 回目以降 はそれぞれ 600mg、600mg 及び 20000U を、初回投与時には 8 分以上、 2 回目以降は 5 分以上かけて 3 週間間隔で皮下投与する。
〈がん化学療法後に増悪した HER2 陽性の治癒切除不能な進行・再発 の結腸・直腸癌〉 通常、成人に対して 1 日 1 回、ペルツズマブ（遺伝子組換え）、トラスツズマブ（遺伝子組換え）及びボルヒアルロニダーゼ　アルファ （遺伝子組換え）として初回投与時にはそれぞれ 1200mg、600mg 及び 30000U を、2 回目以降はそれぞれ 600mg、600mg 及び 20000U を、初回投与時には 8 分以上、2 回目以降は 5 分以上かけて 3 週間間隔で 皮下投与する。

2）後発品・メーカー変更・規格追加薬剤

1. アイリーア 8ｍｇ硝子体内注射液	→アイリーア 8ｍｇ硝子体内注射用キット 114.3mg/ml
2. エイゾプト懸濁性点眼液 1%	→ブリンゾラミド懸濁性点眼液 1%「ニットー」
3. クラリチン錠 10mg	→ロラタジンＯＤ錠 10mg「日医工」
4. ナゾネックス点鼻液 50μg	→モメタゾン点鼻液 50μg「杏林」
5. パタノール点眼液 0.1%	→オロパタジン点眼液 0.1%「ニットー」
6. バビースモ硝子体内注射液 120 mg/ml	→バビースモ硝子体内注射用キット 120mg/ml
7. バルトレックス錠 500mg	→バラシクロビル錠 500mg「SPKK」
8. ベバシズマブBS点滴静注「第一三共」	→ベバシズマブBS点滴静注「CTNK」

3）削除品目

なし

2．新規 院外処方薬（院外処方箋でのみ処方可）

ゼポジアカプセル 0.92mg

ゼポジアカプセルスターターパック

クラシエ半夏白朮天麻湯 3.75mg

タモキシフェン錠２０mg

ステリクロン W 液 0.02%

レキサルティ OD 錠 0.5mg

レキサルティ OD 錠１mg

レキサルティ OD 錠２mg

タクロリムス錠 0.5mg

ナウゼリンドライシロップ 10mg/g

アミユー配合顆粒 2.5g

モルヒネ塩酸塩錠 10mg

3．医薬品安全性情報

なし

4．添付文書改訂情報

イトラコナゾール錠５０㎎

【改訂理由】

リオシグアトは主に CYP1A1 で代謝されることが判明したことから、他の強い CYP3A 阻害薬を参考に設定したイトラコナゾールについても併用禁忌から併用注意へ変更となりました。

■**改訂内容**（＿＿＿＿：改訂・追記部分、　　：削除部分）

改　訂　後	改　訂　前
2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） ※2.1 ピモジド、キニジン、ベプリジル、トリアゾラム、シンバスタチン、アゼルニジピン、アゼルニジピン・オルメサルタン メドキソミル、ニソルジピン、エルゴタミン・カフェイン・イソプロピルアンチピリン、ジヒドロエルゴタミン、エルゴメトリン、メチルエルゴメトリン、バルデナフィル、エプレレノン、ブロナンセリン、シルデナフィル（レバチオ）、タダラフィル（アドシルカ）、スボレキサント、イブルチニブ、チカグレロル、ロミタピド、イバブラジン、ベネトクラクス（再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）の用量漸増期）、ルラシドン塩酸塩、アナモレリン塩酸塩、フィネレノン、ボクロスポリン、イサブコナゾニウム硫酸塩、アリスキレン、ダビガトラン、リバーロキサバンを投与中の患者［10.1参照］ 2.2 ～ 2.5（省略、変更なし）	**2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）** 2.1 ピモジド、キニジン、ベプリジル、トリアゾラム、シンバスタチン、アゼルニジピン、アゼルニジピン・オルメサルタン メドキソミル、ニソルジピン、エルゴタミン・カフェイン・イソプロピルアンチピリン、ジヒドロエルゴタミン、エルゴメトリン、メチルエルゴメトリン、バルデナフィル、エプレレノン、ブロナンセリン、シルデナフィル（レバチオ）、タダラフィル（アドシルカ）、スボレキサント、イブルチニブ、チカグレロル、ロミタピド、イバブラジン、ベネトクラクス（再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）の用量漸増期）、ルラシドン塩酸塩、アナモレリン塩酸塩、フィネレノン、イサブコナゾニウム硫酸塩、アリスキレン、ダビガトラン、リバーロキサバン、リオシグアトを投与中の患者［10.1参照］ 2.2 ～ 2.5（省略）

次頁に続く

※参考文献

・科研　イトラコナゾール錠５０㎎　使用上の注意改訂のお知らせ